

## 起業実践プログラムによるイノベーションリーダーの育成

(実施期間：平成 26～28 年度)

実施機関：東京農工大学（総括責任者：千葉 一裕）

### 採択プログラムの概要

本事業では、自ら又は協働で見出した課題解決により、研究成果に基づく起業や企業における事業開発を推進できる人材の育成を目指す。国内20以上の大学、ベンチャーキャピタル、製造業、流通業、シンクタンク及び海外第一線のイノベーション推進機関と共にイノベーション・エコシステムを構築する。

学内外の学部・大学院生、若手研究者及び社会人を対象に「課題解決に向けてチームを作り」、「既存の価値基準を越えた提案が社会に理解される努力を続け」、「事業経験者や専門家の協力を得て、地域や異業種、外国機関と連携し、価値観の共有と相互互恵の理念で事業を進める」他、「プロジェクト遂行に不可欠な資金調達能力を養う」。実業を推進する受講者には、海外大学院、ビジネススクールの学位取得の機会を付与する。事業終了までに本学に設置する大学院新専攻（博士前期・後期課程）の教育課程を中核として、事業並びに連携関係の発展的継続性を確保する。

#### (1) 評価結果

総合評価	目標達成度	成果	計画・手法の 妥当性	補助事業期間 終了後における 取組の継続性 ・発展性
A	s	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

#### (2) 評価コメント

総括責任者の強いリーダーシップの下、目標を上回る受講者数を達成している。事業開始時の目標として掲げていた「社会的に大きなインパクトを与える事業開発または起業を具体化する有望課題と推進力を持った人材を10名以上輩出する」についても、企業内で新しい事業の提案を行った者や大学院生・学部生で今後国際的に通用する人材につき16名の人材を育成している。また、グローバルリーダー人材育成のための、民間企業、海外大学等とのエコシステムを構築したことは評価できる。今後は、継続的な取組によって大学の研究成果を基にした起業を行う人材の輩出を期待する。

・**目標達成度**：グローバルリーダーとしての意識を醸成し、スキルアップにより日本と国際社会を牽引する起業家意識と技量を持ったリーダーの育成を目的とした起業実践プログラムを実施し、全受講者数は340名と目標を上回って達成していることは高く評価できる。他大学及び企業から

計 197 名(全受講者の 57.9%)の受講者を集めるなど外部から高い評価を受け、学外受講者率 55%以上の目標を達成しており、高く評価できる。

・**成果**：多くの起業実践プログラムを実施している。3年間で延べ 116 名の受講者を海外研修に派遣しており、受講者のビジネスプランを基に国際交流・共同研究にまで発展させた実績を上げている。民間企業や海外大学との連携により、国際ビジネスにつながるイノベーション・エコシステムを構築したことは評価できる。受講者のうち、半数近くが学内外の学部生であり、これが研究成果の社会実装という視点からはやや課題を残しており、実績のなかったベンチャー創業、新事業創出については今後の成果を期待する。

・**計画・手法の妥当性**：全国の連合農業研究科のネットワークを活かして受講者を募集した点は評価できる。座学で基本を学び、チームでビジネスプランを作り、メンターの指導やコーチングを受け、海外研修でプランのブラッシュアップを行う PDCA を実施したことは評価できる。一方で、イノベーション推進機構の役割である教育プログラム自体の改善に向けた PDCA は体制を含めてより明確な取組が望ましく、受講生の能力の評価、プログラムの英語化率の向上等が求められる。

・**補助事業期間終了後における取組の継続性・発展性**：プログラムで実施した講義の一部を事業期間終了後に正規課程の授業として単位化しており、新たな教育プログラムも追加している。また、イノベーション人材養成事業基金や株式会社東京農工大学総合研究所の設立により幅広い資金調達ができる体制を整備し、外部資金も多く獲得し、自立化に向けた取組が行われており、総じて補助事業期間終了後における継続性・発展性が期待できる取組となっており評価できる。